

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の変更認可申請に係るヒアリング (3)」

2. 日 時 : 令和5年4月27日 (木) 15時20分~16時15分

3. 場 所 : 原子力規制庁 8階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

松本企画調査官、田中管理官補佐、羽場崎主任安全審査官、尾崎安全審査官、川村安全審査専門職

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他12名

5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

6. 提出資料

なし

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	それでは、ただいまより、
00:00:06	4月21日、RFSの保安規定と、設工認に関するヒアリングの方を始めさせていただきます。
00:00:14	はい。規制庁松元です。主に今日は、施工時の申請書記載内容の確認ということなんですけれども、それに入る前に、2点ほど確認したい事項がございます。
00:00:29	まず1点目は、保安規定に係るその後の対応状況ということですよ。
00:00:35	4月10日に実施しました審査会合におきまして、RFSの方からですね、条文の修正に入っており、審査会合の後、社内で最終に最終的に決定地方税を行いたいと。
00:00:50	いう発言がございました。その後の対応状況について説明をお願いします。
00:00:56	これが1点目です。
00:00:58	それから2点目ですけれども、これが標準応答スペクトルを考慮した設工認の対応状況です。
00:01:05	会合とこれまでのヒアリングですね、また、本日はこれから確認する事項につきまして必要に応じて本文の拡充なり、添付書類の拡充といった補正が必要になると思われましてけれども、
00:01:21	その辺の話、それからまた、その会合で説明がありました、転記ミスにつきまして、こちらもしっかり確認して対応していくという発言もございましたので、
00:01:32	スケジュールからの部分ですね対応状況について説明してください、この2点です。よろしくお願いします。
00:01:42	はい。RFS六つが切っちゃの技術安全部篠田と申します。1点目のご質問について衛藤該当いたします。
00:01:55	まず4月10日の審査会合以来のですね、作業状況につきまして大きく3点ございます。
00:02:04	1点目は審査会合で審査会合等でこれまでご指摘いただいた内容への対応。
00:02:12	それから2点目はですねそれ以外の
00:02:16	社内の気づき等に伴う修正、3点目が組織改変の話でございます。準安定ご説明します。
00:02:28	まず1点目審査、
00:02:40	これ。
00:02:41	音が途切れてしまったようですので、すみません、途中方よろしくお願いします。
00:02:52	あれですね、ちょうど写真等です。私の発言をもう一度、
00:02:57	繰り返したらよろしいですか。三つ目で指摘事項対応、それから社内気づきに伴う修正、それから組織改正の話があったところまで、これが届いております。それ以降お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:03:12	はい承知しました。まず1点目の審査会合等のご指摘でございますが、これ4月10日にご説明しました通り
00:03:25	10ヶ所ございます。
00:03:27	ここの対応方針は審査会合でご説明した通りでございます、今それを実際の条文の文書をそのものに
00:03:38	作成しまして、それ自体は終わっておりますが、それをにすることに伴って整合性のチェックとかですね、他の条文との
00:03:52	全体の整合性チェック等を行って今ちょっと文書のブラッシュアップを行っております。
00:03:58	それから2点目これ社内の
00:04:01	気づき等に基づくものですが、これで記載の最適化とか一部誤記訂正等ございましてこれが約20ヶ所ございます。
00:04:13	これについて今鋭意進めているところです。
00:04:17	それから3点目組織改編の条文の反映でございます。
00:04:23	この組織改編につきましては7月10日にも簡単にご説明しましたが、やりたいことはですね
00:04:35	事業を開始した以降は、キャスクに関して設計カラー保全まで一貫した組織で見るというところをやりたいと考えてますが、
00:04:48	事業開始まではあくまで現在の許認可を進めてきた組織ですね、建設段階として
00:04:58	これまで設工認、使用前自由席検査まで、これはですね現在の審査体制の中でやりたいと思っております、
00:05:08	それを二期目のキャスクの時点から、新しい体制、つまり、キャスク、管理部という名前のもとに、キャスクの設計グループと、キャスクの保全グループと、
00:05:23	この二つを設けまして、道具の中で、キャスクを一貫して見ていくという組織を二期目のキャスク以降に、対応していくためには今回の補正に、
00:05:36	追加させていただかないと準備時間とかも含めると実態として間に合わないというふうに考えておまして今回入れさせていただくものです。
00:05:48	それに伴いまして、この新しい組織の形で申請、変更後の形として申請させていただきますと、
00:06:00	それを適用するタイミングに関する付則の書き方ですとかそれから今回その変更に伴ってですねキャスクを取り扱うグループが、
00:06:12	従前の貯蔵グループと保全グループに加えてキャスク保全グループというのが登場しまして、この3グループが主語になる、
00:06:23	ところの追加変更とかですね、これが本部のみならず実施基準とか多岐にわたります。この辺りの条文の抽出、それから、
00:06:34	反映に漏れがないかとかのチェックを今慎重に進めておまして、この辺が整うと条文として意識、上今ご説明した3点すべてで本文そのものを監査して、
00:06:51	させます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:52	その後申請書の形に整えるのに比較表の形で、補正書を仕上げていきますので、
00:07:01	今回このような変更を行いますと、またこの信号変更したりしますと
00:07:08	過不足とかですね変更漏れとかちょっとこの辺慎重にチェックしないと、品質としっかりしたものがつけれないと思ってまして、こういうチェックに十分時間をかけて、
00:07:22	昨今のですね、いろんな他社の事例も含めて、我々自身もちらほらいろいろ誤記が発生してますので、しっかりチェックして、
00:07:34	変更管理をしっかり行って補正書を作成していきたいと考えております。
00:07:40	で、このようなものを最後仕上げた後、社内の最終的に組織改編の承認それから保安委員会での審議、こういうものを経ますと、
00:07:50	我々としては一応5月の
00:07:56	20、4日を今社内の目標値として設定させていただきたいと考えているところです。以上になります。
00:08:11	規制庁増本です。状況がわかりました。1点だけちょっと教えてください。記載の適正化の部分で、一部大きな訂正、
00:08:23	も含めて20ヶ所あるっていう話だったんですけども、これって市一応補正が出てきてから審査すればいい話かもしれませんが、何か今まで聞いた、その内容はなしに、大きな変更を伴うようなものなんでしょうか。
00:08:41	RASむつ本社の篠田です。大変失礼いたしました私のご説明がちょっと悪くて、大木、大きな変更じゃなくて誤記と申し上げたのが5大きい何か、
00:08:53	大きな変更と伝わってしまったように思います申し上げたのは、記載の適正化と誤記、誤記の訂正でございます。大きなではなく、5号機の適正ですね。わかりました。はい。
00:09:08	大きな話ではございません。はい。
00:09:24	あ、
00:09:26	あれ本社の貯蔵保全部の
00:09:30	アットマーク店いただいております高瀬須賀続いての設工認の方の状況についてですが、佐瀬四方ですか。
00:09:39	ちょっとお待ちください。まず、製造部分について今話がお話を伺ったんですけども規制庁の松本です。金城側で何か質問とかコメントとかございません。
00:09:51	か。
00:09:56	えーと、
00:09:58	ちょっとリモートなんですけれども、田仲さんと小崎さん、何かありますか。特にありませんか。
00:10:12	あれ。
00:10:19	ちょっと仲です。私の方からは特にありません。
00:10:32	尾崎さんは大丈夫ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:54	すいません。それでは後で、もし何かあればまとめてお聞きしたいと思 いますので、1点、設工認の方の対応の説明をよろしくお願ひします。
00:11:06	はい、承知しました。あるベースの本社の貯蔵保全部の高橋でございま す。先ほど
00:11:13	いただきましたポイントですね、設工認の審査会合以降の準備状況また あの審査会合でご説明させていただきました、テンキーの間違いについ て対応状況、こちらについてご説明させていただきたいと思ひます。
00:11:28	まず1点目ですけどもこれまでですね、ご審査の中を通じましてです ね、特に検討用地震力の設定、こちらの方に関わるですね、
00:11:39	問い合わせご質問。
00:11:41	をいただいてそれについてこれまで、補足説明資料ですとかで、ご回答 をさせさせていただいております。こちらにつきましては申請書の本文 側の方にも、補足説明資料への読み出しになるような、
00:11:54	呼び込みになるような表現を入れさせていただく方向で、我々検討を進 めております。準備を進めております。また本日この後、ヒアリングで いただきます。
00:12:06	ことになる、お問い合わせ、ご質問につきましても、本日この場でご回 答をできるものもあるかもしれませんが、ちょっとこちらの方でそしゃ くさせていただきまして、また資料を用意して、またご説明して、
00:12:20	物によっては補正で対応させていただく。その辺の準備も、遅滞なく進 めていきたいと思っております。それから
00:12:29	審査会合のところでご説明させていただきました
00:12:33	申請書上ですね、転記の誤り、こちらにつきましては、原因をよく調 べましてですね、その原因に見合う主の事例がほかにはないか。
00:12:44	今回変更認可申請させていただいた申請書の中、また御認可いただいた これまでの申請書の中、こちらについて今調査を進めております。で、
00:12:55	これまでのところ、調査ほぼ終わっておりまして、大体ですね、大変恐 縮なんですけど、10件弱程度になるんじゃないかなと思っております。た だそのすべてにおきまして、
00:13:05	例えば耐震上の判定基準に対して、計算値が上回ってしまうような逆転 してしまうような、大きな誤りですとか、そういう安全性に影響を及ぼ すような、
00:13:17	誤りが見つかってございませぬし、またですね、これまで見つけており ます、あんまりというのはですね、申請書の本文ではなくてすべて添付 書類のところでの、
00:13:28	あまりとして見つけております。まず、原因を、それぞれ同じ原因にな るもの、同じ組織が
00:13:43	起こしているものですか、であったり違う原因であったり違う組織に も関係するとか、そういうところを分析しながら、対策の方、検討して した上でですね、修正の方、
00:13:55	訂正の方ですね、この後にまとめて参りたいと思っております。また今 回見つかった中にはですね、今回申請した範囲の中のもの、また或いは 今回申請した範囲には含まれていないし、説明資料、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:09	説明書、こちらについて、小山のところが見つかったりしておりますのでその辺をすべて整理した上でですね、今後のこの続きの具体的な補正申請に当たるのかって対応するべきなのか。
00:14:22	まだ今、その他のやり方があるのか、その辺も我々の中で検討させていただいて整理してご説明させていただいた上で、対応していければなと思っております。
00:14:32	最後にですけれども、見込みといいましょうか、見通しですけど我々の中で作業した上でですね、目標としましては、5月の最終週、或いはちょっと少し6月に入る辺り、
00:14:45	この辺りを社内的な目標にしてこの後、進めて参りまして、補正で対応していた、させていただくと、そんなことを今考えてございます。ご説明以上です。
00:14:59	説明ありがとうございます。規制庁松元です。いわゆる転記ミス、誤記ですね、その対応状況についても今説明いただきました。
00:15:09	ほぼ調査がまず終わっているということと、10件程度が追加されるっていうイメージですかね。すべてにおいて、安全性に影響を与えるような誤りではなく、すべて本文ではなく添付しようということですね。
00:15:25	その点については理解しました。
00:15:28	また繰り返しになってしまいますけれども、そういった状況も引き続き、確実なものというより確実に動きがないような、チェックをしっかりした上で、
00:15:40	それに加えて今日のヒアリングを踏まえてということになるかもしれませんが
00:15:48	ほぼ本部なり、店舗なりの拡充、そういったものも含めた補正を行うということでその補正の見通しは5月の最終ちゅうか、6月の頭ぐらい。
00:15:58	いうことを社内で目標としているということですね。わかりました。ありがとうございます
00:16:04	ありがとうございます。閉鎖です。はい。補足させてください。
00:16:10	はい。我々ですね、遅滞なくやりたいと思っています。先ほどですね市の方行った通りですね5月の24日とか、そこら辺目標にやっていますけど、前倒しも含めてですね、やれるものはやっていきたいなどは思ってございますけど。
00:16:23	先ほどから出てる通りですね、Asano 動きまして、みずからの動き、ありますのでそこはですね、
00:16:30	特に慎重になってですね対応したいと思っていますので、スケジュールありきというわけでもございませんけれど慎重に対応させていただければと思いますので、よろしく申し上げます。以上です。
00:16:40	はい。規制庁松本です。説明ありがとうございます。
00:16:44	本件について規制庁が何か質問とか、コメントございませんか。
00:17:02	よろしいですか。
00:17:04	でこのいろいろ、どうぞです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:13	違います根井津野様でしたっけ。はい。もし、何もなければ、この本規定の補正に対するその対応状況ですねあと設工認の現在の対応状況についての
00:17:26	やりとりは、ここまでにしたいと思います。
00:17:30	はい、ありがとうございます。
00:17:35	すいません規制庁野崎ですが、1点よろしいでしょうか。すいませんちょっとクリーニングしたんですが、今の保安規定なり設工認の補正に向けた対応というのは状況を把握いたしたいずれも、
00:17:49	事業者の方でミスがないようしっかりやっていくってことですんで、多少何か時間がかかってるかなという気はするんですが補正にあたっては、しっかり精査したものを提出いただきたいと考えていますが、よろしいでしょうか。
00:18:08	RAS 無痛本社、篠田です。承知いたしましたご迷惑をおかけしないようにしっかり。
00:18:16	チェックしたものをお出しします。
00:18:18	はい。ありがとうございますよろしく申し上げます。私からは以上です。
00:18:24	規制庁松本です。他ございませんか。
00:18:29	はい。この話はここまでにしたいと思います。次はもういいですかね。次の議題は議題っていうのは次の話ということで、設工認の申請書に対して幾つか確認したい事項があると。
00:18:43	ということで、これは浜崎さんの方からご質問等をお願いしてもよろしいでしょうか。
00:18:52	はい。規制庁濱崎です。よろしかったらですね。
00:18:56	3月28日付で提出されてます。布設工認の当初ですについて何点か事実確認、それから記載上の
00:19:09	確認ということをしていただきたいと思います。
00:19:12	当資料はそういうことで3月28日提出付の資料の方私が見ているんですが今共有されてますでしょうか。早速ですがこの資料のですね最初に、
00:19:25	通しで言うと214ページ、資料としてのページは下に5人1-40ページっていうところですね。
00:19:34	はい。
00:19:35	開けていただければと思いますんで。
00:19:39	これが一番上の表になります。表の8-2-10になります。ここで杭と地盤の相互作用を考慮した地盤までっていうのは、
00:19:52	ここに表記されておりますけれども、
00:19:54	今回追加されましたSsB5の地震動に対応する地盤までは、従来のSs-AとかSB案と同じ値機種という形になってます。
00:20:07	一方ですねエスビーの江藤地盤物性値の方ですねこれ前の方に、ふささかのぼっちゃうんで、ちょっとあえてみませんけれどもですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:18	その物性値を見ると、かなり深いところですけども若干 Ss-A、或いは B 案とは違う物性値になっていますけれども、それでもこの地盤ばねが同じ値であると。
00:20:31	ということになってます。で、いわゆる底面ばねと言われるものは、そういう深いところが変わっていても、成層補正するとほとんど
00:20:42	底面の位置での等価物性っていうのは変わらないということで、理解はできるんですが、今回、水を汲み構造物の場合なんですけど、それでも同じ。
00:20:53	値になっているということなんですけども、
00:20:56	今回 SSB5A 評定とスペクトル版についてですね、これ、
00:21:03	場、特にのばねをですね、計算した結果、同じ、全くこの有効数字四つの数字が同じになったのか、或いは、その一番の、
00:21:16	構成を見て、もうこれは同じというふうにみなしたのか。
00:21:20	そこら辺のその事実関係を確認したいんですがいかがでしょうか。
00:21:27	はい。サイクル燃料貯蔵の寺山です。
00:21:30	今ご覧いただいたところで一番上で、SASB は設備 5 につきまして、マネの地盤ばねを同じとしているところについてなのですが、
00:21:41	先ほどご覧、お話に出てきたように、この前の方で出ている地盤物質物性についてなのですが、この地盤物性がですね、杭が接する部分の地盤物性、地盤剛性がですね、
00:21:54	ちょっとこちらが同一であるというところから、これを基づいて計算したばねが同じになるということで、ここではまとめて記載しているものとなっております。
00:22:05	はい、以上になります。すみません RFS を食べることで若干補足いたします。ご案内の通り、底面ばねは、杭と地盤の相互作用を考慮した、
00:22:18	杭の効果も、何ですかね、地盤ばねの回転ばね、それから水平ばね、
00:22:24	に変化しておりますので、先ほど申し上げたように、徳井加瀬存在している部分の物性値が、たまたまこの三つの場合、同じ剛性低下率も含めて同じであったということから、
00:22:36	場での計算結果も同じになるということでございます。以上でございます。
00:22:42	はい、吉瀬茶葉先です今の説明で理解しましたので
00:22:48	この値ということで、実際、今回追加された地震動に関しても同じ値を採用したということで理解いたしました。
00:22:57	とついでになりますけれども、本、ちょっと資料を、これちょっと定性的な話になって申し訳ないんですが、当資料ですと、当期っていうと 273 ページ。
00:23:10	資料のページとしては、99 ページの最大応答値の比較のところ、図になります。
00:23:19	はい。今、示していただいている。
00:23:22	ここですもんねこういうこともあり得るとは、こちらは想像するんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:23:29	Ss-Aの鉛直応答のこれ、最大応答加速度の分布なんですけども、基本ケースと一ワンシグマの値がほぼ一緒になっていますが、若干違うところもあるんですけども、
00:23:42	これはチェックといいますかこの値はもう間違いないでしょうかという、そういう手続き的な話なんですけども、ちょっと余りに、1度が高いかなと思ってるんですけども。
00:23:55	というのは軸力を見るとですね、もうちょっと差が出てるんですけども、加速度はなぜここまで一致しているのか、或いは先ほど来話が出ているような、何らかの呼気とかいうものはないですかという、
00:24:06	そういう質問であるんですが、いかがでしょうか。
00:24:10	はい。最後の燃料貯蔵の寺山です。こちらの計算結果につきましては解析あと解析実情調査の方で確認している中で、
00:24:23	問題そちらの方に問題は見つかっておりませんので、問題はないかと考えているところです。
00:24:28	結果このような形で、原野加速度能等につきましては、ほぼ一ワンシグマも同じような値は出てる結果として出てる場所なのですが、
00:24:41	地盤剛性一ワンシグマなる等地震盤がモデルが浅く変化して入力も変化します。あと地盤ばねも若干変動するので、
00:24:51	そういう形で音が変わるんですけどそこはそ、そういう形で音が変わることなので、必ずしも比例っていうわけでもないところもあって、結果的にはこちらは、
00:25:02	同じようになったのかなというところに考えております。
00:25:05	それに対してその次のページの下のところ軸力の方ではもう少し差が出ているということもあるのですが、こちら実際には最大が出る場所、先ほどの加速度で災害で出るところと、
00:25:18	軸力で最大が出る場所は、必ずしも同一自国でないということから、こういうところでは若干の差異が出ることも出てるのかなというふうように考えているところです。
00:25:30	以上になります。
00:25:35	はい。規制庁浜崎です。今の寺尾さんの、大体理解したんですが、最近、軸力応答軸力等応答加速度は、発生時刻が違うっていうのはそれが確認された。
00:25:49	ということです。よろしいですか。
00:25:52	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。こちら間違うことも確認しております。以上です。
00:25:59	はい、浜崎です。確認されたということで理解しました。ちょっと慣性力なんで、基本的には一致するかなと思ってたんですけどちゃんと確認されたということで理解しました。
00:26:11	はい。次になりますけれども、資料ですと200、通しページで278ページ私、
00:26:22	一番下に書いてあるページですと104ページなんですけれども、
00:26:25	ここに荷重組み合わせの表があります。
00:26:30	今、出てきましたねはい出てきました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:33	ちょっとこの荷重組み合わせについて
00:26:36	幾つか確認したいんですけども、まず、これ、0年'を設定している理由についてまず説明をお願いします。
00:26:48	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。まず、こちらのカジョケイス0の方につきましては、押し込みの場合ですね、
00:26:58	考えて、その場合には建屋の風が大きいケースを考えているものになります。あともう一つ、こちら0'として示しているのは、引き抜きですね、建てんよというところで、建屋荷重がケアの低い、
00:27:12	軽くなるケースを示しているということで、そういうことでまず、5テラで場合分けをしているものになっております。
00:27:18	はい。まず、以上になります。
00:27:21	はい、芝田技術は、まず理解しました。従って、0'のVL'の方ですね、ここに関しては、経緯といいますか金属キャスクについては、無視した。
00:27:35	状態で、設計的に危険があった設計的に考慮して、このような荷重設定をしたと、いうことで理解すればよろしいですねそうしますと、
00:27:47	はい。まだあるわけでございます4月の場合は、社会施工でございまして軸力が抜けた状態を想定して、機械が基軸は聞いてない状態になりますと。
00:27:59	負けのつり合いが変わりますんで、その状態を考慮して設定した値でございます。以上です。
00:28:06	はい。室長は武井です。はい。出たりしました。
00:28:10	あとですね細かい話ですけど、表の中にあるCL、
00:28:16	ロッカー、CLの説明とかは、
00:28:22	この前後にあるんでしょうか。記号の説明がちょっと。
00:28:27	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。こちらの記号につきましては既認可の申請書に記載、説明があつて、ちょっと今回は既認可で同じということで、今回、申請書にはちょっと記載はないのですが、
00:28:42	既認可の申請書の郷河内1というところで果樹についての説明の箇所があるのですが、そちらの方でこちらの記号の説明にそこは
00:28:56	いたしております。以上になります。
00:29:00	相木所長までです。
00:29:04	まずそうそうだろうなというふうには思っていましたけれども、そういう場合って、もう既認可に書いてあるから、ここでは省略しますっていう、
00:29:15	そういう扱いになるんでしょうか1時間、すべて書く必要があるのかという、確かにそういう話もあるんですけども、
00:29:21	要はですね、似たような話がこれ、いくつか後からもあるんですけども、
00:29:27	何々を参照って書いてあつてその参照する飛んで飛んでいく、ひもづけするページがない、項目がないとかいうところがあるんで、ちょっとそこら辺をもう少し丁寧につく、説明が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:40	あってもいいかなと思うんですけども、いかがでしょうか。
00:29:45	いかがでしょうか。
00:29:47	基本的にそういうスタンスですって言うんでしたら、それはそれでいいんですけども、
00:29:52	今回のような、
00:29:55	この記号なのというような種後からですね見た場合に、当然、一木2課を、
00:30:02	見ないといけないわけなんですけども、
00:30:05	ここ0もう少し丁寧に作成っていうのは考えられませんかでしょうか。
00:30:10	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。ちょっと今回変更申請するにあたってちょっと最初は検討が大変なところもあるんですけど、
00:30:20	今回ちょっととに、とにかく変わった場所を示しても木幡ない場所は同じということで、どこが変わったかっていうところを明確にするようにす。
00:30:34	変わった場所変えてか何か、場所は許認可に同じというように、ちょっとしてしまったところがありますので、ちょっとそういう形で、
00:30:44	今、今回のご指摘あったところは、表示されてないところになります。
00:30:48	ちょっとそういう、実際ちょっとこういうようなその場所場所で、説明という意味ではちょっとあった方がよかったところもあるんですけど、ちょっと変わってないところを
00:31:01	ずっと使ってつけてしまっても、ちょっとどこが変わったのかわからなくなってしまうところもあるかな、ところがあるかなともちょっと考えたところで、ちょっと今ちょっと全体の方針としてちょっとそのような形で申請書、今回は足跡作成し、
00:31:16	しております。以上になります。
00:31:19	はい。規制庁浜崎です。すべてその単体として、すべて学校を完結していないといけないかというところは確かにおっしゃる。
00:31:32	考えがわかります。
00:31:35	ただ、一方で、
00:31:38	わかんない家、この記号なのっていうわからないっていうこともあり得るんですけどちょっと定期事業者の方ですね判断でいいと思いますけれども、できるだけわかりやすく、団体としてもですねわかりやすい。
00:31:51	修正等ですね、考えてもらえればいいかと思います
00:31:56	ある程度、事業者、その判断ですね、記載の適正化といいますか、改善という観点ですね、検討してもらえればいいかなというふうに思います。
00:32:08	よろしいでしょうか。
00:32:12	リサイクル燃料とその他、
00:32:16	どうぞ。すみません。失礼しました。
00:32:23	規制庁山崎です。私からは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:26	ちょっとよろしいでしょうかと聞いて、
00:32:29	お聞きしたんですけど、よろしいですか。はい。ちょっとこちらのはわかりやすいところ、ちょっと検討させていただければと思います。以上です。
00:32:42	はい。規制庁浜崎ですよろしく申し上げます。同じような話なると思うんですけども、282 ページとしてですね、下で 108 ページの、
00:32:53	ところに、
00:32:57	さしていただけるか。
00:33:01	はい。どうぞ。はい、映ってました。両括弧 2 のところですね、もうちょっと下は、両括弧 2 を緑化したところで、
00:33:13	1、木曾佐渡の設計と同様に行うって書いてあるんです。
00:33:17	この資料の中でこの市基礎スラブ設計っていう町は、
00:33:23	あるんでしょうか。
00:33:25	というか、多分これも、
00:33:27	桐花の方に、を見に行けばという形になってると思うんですけども、そういうのについて、はい、SA の燃料貯蔵の寺山です。
00:33:39	こちら 1、基礎スラブの設計とあるところなのですが、こちらはちょっと正しくはですね 6 ポチ 3、基礎スラブの設計というのが正しい記載でしたのでそちら、
00:33:52	補正申請にて修正したいと思います。でもこちらご認識の通り、既認可のところなので、今回、既認可に同じというところで書かれてる箇所になります。以上になります。
00:34:06	はい、支店長浜崎です。先ほど 1 ポチは誤記でやったということで理解しました記載の適正化等を、ちょっと拡充の方お願いしたいと思います。
00:34:17	あと、続いてたんですが、通しページで 283 ページ、資料としては 190 ページの
00:34:27	基礎スラブの解析モデルです。
00:34:29	の説明があるんですけども、
00:34:32	この一つの部の応力解析を行う上での各荷重の条件といいますか具体的にどういう差異化条件、
00:34:42	荷重を、
00:34:45	どのようにして、再開したのかっていう条件については、今回の資料に説明がないというふうに思ってますんで、基本的には既認可と同じことを、
00:34:54	だというのはわかるんですけども、
00:34:57	何らかのその説明っていうのは、あってもしかるべきかなと思ってんですけども、そういった記載の拡充っていうのは可能でしょうか。
00:35:08	はい。リサイクル燃料塗装の寺山です。こちらの実際に行ってることとしてはご認識の通り、杭の曲げ物性応力に関してはですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:35:20	バネを返して基礎スラブに杭の曲げをロードショー力を考慮しているということを行っております。
00:35:27	それにつきましてはちょっとさっきのご質問のあった通り、あたところになるのですが、先ほど6ポチ3の基礎スラブの設計というところでその考え方はちょっと記載していて、それと同様な考え方をとっているところ。
00:35:42	で考えてたところになります。以上になります。
00:35:47	はい。院長浜崎です。今、ことでご説明あったような趣旨の文章でも結構ですし、何らかのやはり説明っていうのはあった方がいいというふうに思いますので、
00:36:00	先ほど来の、より丁寧に資料の作成になります記載の拡充になりますけれどもですね、検討の方お願いしたいと思います。
00:36:10	引き続いてですけども、資料でいうと293ページになります。
00:36:22	はい。今移りました
00:36:25	一番上にある、ポチの終局曲げ強度についてなんですけど、
00:36:29	M様について具体的にセンター地区センターについては、AとBポチの方にこうこういう式で、AIではこういうパラメーターでしえっと計算しますって説明なんですけども、
00:36:41	終局までについてはちょっと説明が、これは少ないかなと思ってるんですけども。
00:36:47	何か
00:36:49	特に説明され、されない理由。
00:36:51	はあるんでしょうか。
00:36:55	はい。はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。こちら実際にちょっと行っていること、MAAPとなるのですが、実際こちらの絵のM曲線ではないのですが、
00:37:07	軸力とか、鉄筋配置を考慮したモデルを用いて、つり合いを再現しまして、終局曲げ強度を算出するっていう、
00:37:17	ところになっていてちょっと式ではちょっと表しねたらいいんですか、そういうものを示しているところになっております。はい、以上になります。
00:37:30	はい。来県者羽ばたきです。具体的な検査方法等に関しては、既認可の方の、
00:37:39	に説明があるということによろしいですか。
00:37:44	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。えっとですねすみません。こちらについては既認可であるもあるわけではないのですが、そのモデルの下で考えているところとしましては
00:37:58	弱の中で示されてるところをですね、94616の中でちょっと示されてる、いうところでのモデルを使っていうところ、
00:38:09	その辺をちょっと、言葉として今回はこちらで示しているようなところでお示したところ、以上になります。
00:38:21	井口浜崎です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:28	わかる。
00:38:29	あつかるといえばわかりますし、逆に千田の方はかなり細かく書かれてるんですけど、なぜ曲げとせん断のこの説明の程度が違うのかとか、
00:38:41	何か理由はありますか。
00:38:45	はい阿部昨日でございます。特にこだわりがあつてこうしたわけではございませんで、従来から書いてた報酬公式をちょっと踏襲したまま今まで来てしまったというのが実情でございます。
00:38:58	今申し上げたように、
00:39:03	0.85 吉井ってのはご案内の通り、コンクリートの圧縮側ですけれども、あと、鉄筋のかぶりとかを考慮して、緑化中心競技それから中立軸を設定して、
00:39:16	つり合いをとって終局の曲げモーメントを出すということですので、その辺の考え方をですね、どこまで、あまり細かくなってもあれですので、理解できるいただけるように少し書き加えることにしたいと思えます。以上です。
00:39:32	はい。土山ですはい。こちらもそんなに細かい情報、説明を求めるつもりはありませんのでですね、
00:39:43	概要といいますか主、大きな主考え方趣旨が、
00:39:47	わかればなんですけどちょっと今の記載ではそれはちょっと足りないかなと思つてますので、もう少し実際の各種をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。
00:39:58	はい。あと二つになります。次になっております。資料ですと 296 ページ通しになります。
00:40:12	これも記載だけど、確認といいますか誤記といいますかそんな、両括弧にもうちょっと下の方を通していただくと。
00:40:22	はい。
00:40:24	両括弧 2 の文章のところ、各 1、1 と同様に算定するって書いてありますけれども、
00:40:32	この、これ、これは何をしようやら説明されようとしているんでしょうか。
00:40:41	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。こちら、1 とあるところはですね、正しくは 6 対 5 ランウェイガータの設計というのが正しい記載でしたので、こちら補正申請にて修正させていただければと思ひます。失礼いたしました。
00:40:59	はい。施設は浜口です。相田の適正化のほうをお願いしたいと思います。
00:41:05	あとですね、
00:41:11	4 月の 13 日に、
00:41:16	ある半数の方から提出いただけてます。補足説明資料ですね、
00:41:23	について、ちょっと考え方といいますかを確認して主体となりますけれども、
00:41:31	よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:36	はい。はい。お願いいたします。
00:41:39	はい。このページの5ページになります。
00:41:53	はい。もうちょっとした。はい。この文章の、
00:41:56	一番最後のところ、下の、
00:41:58	はい。業務になります。これはですねこの資料自体は、設計地震力検討用地震力の決め方ということで、ばらつきを考慮した最大応答値を使うのではなくて、
00:42:12	そのばらつきを考慮した応答値を、
00:42:16	のを見ながら、基本ケースB係数倍をして、検討用地震力にしますという、地震力設定の考え方を、
00:42:27	述べられて今ちょっとカウンターを用意しています。
00:42:31	で、いわゆる物性のばらつきについて考慮するというこれガイドの基準要求の中に書かれているわけなので、当然これはばらつき考慮して設計地震力、
00:42:44	考慮するということになるんですけども、今回、RFSに関しては基本的にはこれ、地盤物性のばらつきキー。
00:42:53	のみを考慮していると。
00:42:55	自分は計算書上は理解してますので、
00:43:01	以前ヒアリングの時に、RFSなのかな、三つは地盤以外のばらつきを考慮して、下を渡嘉敷をしている。
00:43:13	それらを踏まえてケース、基本ケース二次係数を掛けて、
00:43:18	地震力を設定しているというふうに、
00:43:22	お聞きしたように思い。
00:43:27	実際問題、地盤以外の物性値のばらつきを考慮した解析っていうのはされているんですか。
00:43:35	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。釜谷地盤分合成以外のばらつきについても申請書にお示ししておりませんが行っております
00:43:45	コンクリートの剛性及び、あと減衰、建物減衰についてのこちらでは、
00:43:57	＋実施しております。ただ、申請書としては地盤剛性の不確かさについてというところを代表してこちらを示しているところになります。以上になります。
00:44:09	はい。規制庁浜崎です。わかりました。今もう、ちょっと確認させていただいた説明で趣旨は理解しました。というのはですね、
00:44:19	一番下の、今写ってるページの一番最後2行の表現なんですけども、物性のばらつきの話が、この係数倍して検討用地震力を決めるっていうことの、
00:44:34	リンクが取れてないというふうに思ってますので、
00:44:39	要は、物性のばらつきを考慮していますと言いつつ、地盤ダブル設置しか計算していないのに、その結果を、
00:44:50	をもとに、基本ケースに人数倍をして、材料物性のばらつきはすべてその係数の中で見てますというふうに過去の文章読めないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:59	実際には剛性は多分そんなに影響ないんでしょうけど建物についてはですね、例えば減衰についても、3%で振った上での、
00:45:10	応答解析結果を見て、評価しているというふうに理解すればこの一番最後に4についても、趣旨がわかりました。
00:45:20	それで、
00:45:22	今その地盤以外の物性値のばらつきも考慮した上で、最終的にはこの係数で検討進捗を設定するというような説明は、
00:45:35	それは可能でしょうか。
00:45:37	或いは事業者としてはそこはやはり事業者判断でやっていることであって説明。
00:45:44	は不要と考えるというスタンスになるんでしょうか。
00:45:49	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。まず申請書上はちょっと先ほど申し上げたようなところで代表した二つ材料の不確かさケースのうち
00:46:02	地盤剛性の不確かさケースのみお示ししてるところで肝になっております。
00:46:08	で、それに合わせて、この付則説明資料の方も同じく、こちらの値につきましては、材料の不確かさの中の地盤剛性の不確かさについての辺りで、
00:46:20	示しているところになります。
00:46:26	それで、実際のところは、それ以外の不確かさケースも、ここへ超えるような包絡するようなところで、この検討地震力は、決められてるところあるんですけど、
00:46:39	そちらのところは申請書も、こちらの補足説明資料の方にもちょっと出てきてはない、出てこないことで、そろえているところに考えております。
00:46:50	はい。ちょっとそういうところがありますので、これ自体、この補足説明資料自体は、地盤剛性2を包絡する形で、
00:47:05	包絡するようなところで検討用地震力を決めているというところの説明になっているところになります。ちょっとただちょっと今の補足説明資料だと、地盤剛性というところに剛性の不確かさという言葉はこの
00:47:19	補足説明資料ではちょっと使ってないところありますので、ちょっとそれをちょっとわかるようにちょっと補足するような形で、申請書としては、その地盤剛性の不確かさを考慮して、
00:47:30	それでそれで検討地域を決めているというような形で、ちょっとそこはそういう形でちょっと見直させていただければと考えております。以上になります。
00:47:43	はい。ピッチャーばねですけども、
00:47:47	地盤剛性をベースに、
00:47:50	という趣旨を
00:47:52	もう少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:47:55	低めに出すというようなご説明があったというふうに思ったんですけどちょっと私の方も懸念事項としては、例えばこういうのこういった事故の資料を、我々なり或いは第三者を呼んでいく中で、
00:48:11	基本的には地盤のばらつきは考慮していますと、それを包絡する図、件数で見ているから安全ですって言うてるんですけども、いや例えば、例えば、
00:48:21	そのばらつきの要素っていっぱいもあるでしょうと、建屋の減衰3%の話はどうなってるんですかっていう。
00:48:27	時に、いや実はやってますっていうスタンスを、実はある、あれ側として持ってるわけなんですけども。
00:48:35	そういう時間以外についても考慮した。
00:48:40	上で、それを包絡する、係数で評価していますだから安全なんですっていう、そういう説明があればですね、我々にとっても、
00:48:52	例えばこの、ただいま説明するシステムですね、或いは第三者がこういう、この資料を見る上でもですね、
00:48:59	納得感が違うというふうに思ってます理解度が違うというふうに思ってますので思ってますので、
00:49:07	ちょっと今、
00:49:08	谷は、まずそういう事案数は、事業者として、否定するものなのか、まず考え方について、
00:49:19	ですけども、そういう考え方自体は、
00:49:23	おかしな。はい。
00:49:26	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。今おっしゃるようなところで、追記するところもあるかなと。その結果はなくてもそういうような表現だけを追記するっていう方法もあるという。
00:49:40	ちょっとちょっとすいませんあるだけでございます。この地盤物性で代表させるって考え方はですね、前回認可いただいたときから同じストーリーを踏んでおりますので、
00:49:51	ここでちょっとストーリーが変わるという話は、
00:49:55	前々から含んでいたとしても、ちょっと前の既認可が成功になってしまうので、
00:50:02	申請書自体にそれを面のような形で書き込むとはちょっと我々ちょっと難しいか苦しいかなというふうに思っております。
00:50:11	ちょっとその辺の処理の仕方は、我々の内々の検討でありますので、申請書に書かないとしても、補足説明資料で何とかするとか、
00:50:22	ちょ、ちょっと、ただ、補足説明資料にあって本体ないっていうのもおかしな話ですんで、ちょっと書き方を少し考えさせていただければと思います。申し訳ありませんお願いします。
00:50:33	はい。木瀬ちゃんはできます。今これ、
00:50:36	写ってる資料についてもこれ、補足説明の位置付けだと思っておりますので、おっしゃるように、
00:50:45	あまり上流の方に記載を求めるものではないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:51	最低捕捉レベルではですね、ある程度その、実際、
00:50:58	実情は、第三者にも説明できるものがあつた、あるべきかなという考え ですので、
00:51:06	ちょっとその対応については事業者の方で判断いただければいいと思 います。今日の段階で、私自身、或いは、今、ヒアリングやってる、して ますメンバーは、
00:51:17	十分理解するんですけども、それをどこまでその一般化させるかってい うことなるんですね。
00:51:26	補足で、もう少し詳しく書いて、記載するとですね、ちょっとそこは
00:51:34	検討してもらえれば、
00:51:36	いいかというふうに考えます。
00:51:39	やろ。いいですか。
00:51:42	はい、リサイクル燃料貯蔵の寺山です。承知いたしました。検討させて いただきます。
00:51:49	はい、規制庁茂木です。
00:51:51	よろしくお願いします。
00:51:53	私からは以上になります。
00:51:58	はい。規制庁松元です。
00:52:00	こちらで、今日聞こうと思ってるのは以上になりますけれども、他に何 か、
00:52:08	確認したいことを聞きたいことがあれば、
00:52:11	発言をお願いします。
00:52:15	規制庁が何かありませんか。
00:52:30	はい。ないようですので、冒頭であつた保安規定、それから設工認の対 応状況もあるし、それから、今、いろいろと耐震の部分で質問した事項 等について、
00:52:43	1において拡充記載の拡充を検討するもしくは拡充するというような回 答をいただけてますので、そこはしっかり対応していただければと思 います。
00:52:54	規制庁から他何かなければ、それではRFS側から何か聞きたいことを確 認したいことございますか。
00:53:04	はい。川鉄本の高橋でございます。マルエツ本社の方からは特にござ いませぬ。ありがとうございます。
00:53:11	はいどうぞ。規制庁、野本です。それでは本日のヒアリングはこれで終 了したいと思いますですがよろしいですか。
00:53:22	はい、それではありがとうございますこれでヒアリング終了いたしま す。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。